

この秋読んでみませんか 棕鳩十児童文学賞受賞作品

鹿児島で地方色豊かな創作活動と読書活動を展開した元鹿児島県立図書館長で、日本を代表する児童文学者の故・棕鳩十氏。

棕氏に続く児童文学者の発掘と児童文学のさらなる発展を願い、平成2年に創設した「棕鳩十児童文学賞」は今年で19回を数え、新人作家の登壇門として定着し、児童文学の新進作家を発掘する最も権威のある賞の一つとして、全国的にも高い評価を受けています。

また「リズム」で第2回棕鳩十児童文学賞を受賞した森絵都氏は、平成18年に直木賞を受賞するなど、受賞者は文学の世界で広く活躍しています。



棕鳩十児童文学賞の発表記者会見

【受賞作品一覧】

Table with columns: 年度 (Year), 受賞作品 (Awarded Work), 作者 (Author), 出版社 (Publisher). Lists 19 years of winners from 平成3 to 平成21.

※出版社は受賞時のものです。購入するときは書店で在庫をご確認ください

【文化課 227-1962】

「ひらがな だいぼうけん」で今年度の棕鳩十児童文学賞を受賞した宮下すずか氏から皆さんへ文学など本への親しみ方についてメッセージをいただきました。



宮下すずか氏 長野県出身。今回受賞した「ひらがな だいぼうけん」が初の刊行本となる。

「天高く頭肥ゆる秋」 鹿児島市の皆さん、こんにちは。あの雄大な桜島、それを見守る空と海。私の目に焼きついている春の風景は、今頃すっかり秋色に変わっていることと思います。



棕鳩十児童文学賞の授賞式

折しも「食欲の秋」を迎え、大地の恵みや海の幸が豊かな薩摩の地においては、舌鼓を打っている方も多いことでしょう。私が高校生だった頃、本当によく食べました。今よりずっと丸々していて「2キロ太った」などと言うと、母は「これ2個分ね!」と、1キロ詰めの砂糖を私に差し出してニヤリと笑うのです。

やがて月日は過ぎ行き、大きな後悔をし始めます。体だけではなく、もっと本を読んで頭を太らせておくべきだったと。思うに、話の内容に幅広さや深さがあり、知の世界が大きな人は明らかに読書量が多いようです。小中学生のころは本をよく読んだ私ですが、高校生になるとクラブ活動や受験やらで、読書の時間が減ってきました。今より時間的に余裕があったし、何より吸収力や若々しい感性があったはず。今となっては、もう決して戻ることのない日々を残念に思っています。

「食欲の秋」は、頭や心にとって「読書の秋」です。大いに本を読んで太りましょう。特に若いころは、ジャンルを広げているいろいろな栄養を摂ることをおすすめします。

ところで、10月末に「カタカナ ダイボウケン」を刊行予定です。前著同様、大人の方々にも読んでいただけたら幸いです。

私の文字たちは皆さんを何キロも太らせることはできませんが、スプーンの先のわずかな砂糖の重さでいい、この秋、皆さんの頭や心がふくよかになってもらえたらと、ひそかに願っています。



棕鳩十児童文学賞受賞



かごしま近代文学館特別企画展「向田邦子展」では、初公開の向田邦子本人の肉声テープや「阿修羅のごとく」構想メモなど約450点の資料を展示します。

数多くの文学作品の舞台となり、またゆかりのある文学者を数多く輩出している鹿児島。こうした鹿児島市の豊かな文学の世界に親しむことができるかごしま近代文学館や市立図書館をご紹介します。

【文化課 227・1962】

読書の秋 文学に親しんでみませんか

豊かな文学の地・鹿児島

文学には、舞台となった土地とその時代の文化や風土・風物などが生き生きと描かれていきます。そして、その時代を生きた人々の姿などを表現した作品は、私たちの心に感動を与えてくれます。

鹿児島出身の文学者はもちろん、鹿児島に居住・滞在したことのある文学者や、住んだことのないにしても、鹿児島の人や歴史、自然を描いた文学者など、鹿児島にゆかりの深い文学者は数多くいます。鹿児島の人・文化・風土は素晴らしい文学を生み出す豊かな土壌であるといえます。

鹿児島ゆかりの作家たち

こうした文学性豊かな鹿児島に育まれた作家たち。桜島にあった通信基地を舞台にし、自らの戦争体験をもとに、「櫻島」を描いた梅崎春生。水上特攻隊長としての経験を通じて、「出発は遂に訪れず」など生と死を見つめた作品を生み出した島尾敏雄。また海音寺潮五郎の「西郷隆盛」など、多くの作家が西郷隆盛や大久保利通などを題材に、あらゆる視点から幕末・明治維新の時代を描いています。

秋は文化に親しむ季節 市民文化祭・ふるさと芸能祭

■第57回市民文化祭

Table with columns: 行事名 (Event Name), 日時 (Date/Time), 場所 (Venue), 入場料など (Admission Fee, etc.). Lists various cultural events from October 17 to 20.

※事前投歌・事前投句は1000円

■第38回ふるさと芸能祭【入場無料】

◇内容 伝統芸能披露や中学校吹奏楽演奏など
◇日時 11月2日(月)17時~20時
◇場所 中央公園 ※雨天時は中央公民館

■五色の花コンサート【入場無料】

吉田・松元・郡山・喜入・桜島の5支所の旧講場でプロの演奏会を楽しんでみませんか。
◇日時 喜入...10月23日(金)18時30分~ 郡山...10月27日(火)19時~ 吉田...10月28日(水)18時30分~ 松元...10月29日(木)19時~ 桜島...11月19日(木)18時30分~

【文化課 227-1962】

文学との出会いをお手伝い 市立図書館で本と触れ合いませんか

市立図書館では所蔵する本を活用し、講座や展示、イベントなどを通じて、それぞれの年代に応じて、文学などさまざまなジャンルの本との出会いをお手伝いしています。

読書の秋。本と触れ合う絶好の機会です。本と触れ合って、文学のすばらしさに出会ってみませんか。

■講座で触れ合う

成人の皆さんを対象に、文学や経済などをテーマにした図書館文化講座を行い、本から学ぶ機会を提供しています。

■イベントで触れ合う

幼児や小・中学生とその保護者の皆さんを対象とした読書イベントや親子の読書教室を通じて、本と触れ合う機会を作り、文学などへの親しみを持たせます。

■展示で触れ合う

棕鳩十児童文学賞作品展など年間を通じて、読書に関する企画展を行い、本への関心を高めます。

■乳児から本に触れ合う

市立図書館では第2・4金曜日に「あかちゃんのためのおはなし会」を行い、読み聞かせを通じた読書の習慣づけに努めています。

本に親しんでみませんか 市立図書館のイベント

■さつまっ子読書まつり

◇内容 読み聞かせや人形劇など
◇日時 10月31日(土)14時~15時30分
◇場所 市立図書館

■りるとるコアラまつり

◇内容 読み聞かせボランティアグループ「りるとるコアラ」による読み聞かせなど
◇日時 11月3日(祝)11時~12時

■教育について語ろう教育週間

◇内容 郷土出身教育者が著した書物や保護者のための教育や育児に関する本の展示・貸出
◇日時 10月9日(金)~26日(月)9時30分~19時 ※土・日・祝日は18時まで。火曜日(祝)のときはその翌日(火)は休館

10月27日~11月9日は全国読書週間

貸し出し冊数を増やします

市立図書館と地域公民館図書室(移動図書館を除く)では全国読書週間中は、貸し出し冊数を5冊から10冊に増やします。※紙芝居と雑誌は5冊以内。貸出期間は2週間

◇期間 10月28日(水)~11月10日(火)

【市立図書館 250-8500】

文学とメルヘンの世界へ かごしま近代文学館・メルヘン館

〒892-0853 城山町5-1 ☎226-7771
かごしま近代文学館・メルヘン館では、大人も子どもも楽しみながら文学の世界への関心を持ってもらえるような展示や取り組みを行っています。また皆さんにより親しんでもらえる施設にするため、九州新幹線全線開業に向け、展示施設のリニューアルを進めます。

◇開館時間 9時30分~18時 入館は17時30分まで

◇休館日 火曜日(祝日のときは翌日)、12月29日~1月1日

募集 かごしま近代文学館・メルヘン館講座

①はじめての俳句

◇講師 丸山真氏(俳人)
◇日時 11月28日(土)、12月19日(土)、1月23日(土)、2月27日(土)、3月20日(土)11時~12時(全5回) ※吟行のときは10時~12時

②エッセイ講座「エッセイを書こう」

◇講師 相星雅子氏(作家)
◇日時 11月~3月の第4木曜日13時30分~15時(全5回)

③読み聞かせボランティア養成講座

◇日時 11月の毎週木曜日10時~12時(全4回)
◇定員 80人(超えたら抽選)

◇訂正 9月号の8面に掲載した運動会の写真説明にある「油須木自治会」は「川田自治会」の誤りでした。お詫びして訂正します

かごしま近代文学館特別企画展 向田邦子展~彼女のすべて26のキーワード~

数々の人気ドラマの脚本を手がけ、直木賞を受賞し、小説家としての一歩を歩み始めた矢先、突然この世を去った向田邦子。しかし作品やその生き方は今も多くのの人に愛され続けています。この企画展では向田邦子の魅力のすべてをAからZの26のキーワードにより、紹介します。
◇期間 10月16日(金)~11月30日(月)
◇料金 一般600円、小・中学生300円(常設展示と共通)

【関連イベント】

■向田邦子作品朗読会

◇内容 向田邦子の作品をアナウンサーによる朗読で味わう
◇朗読者 岩元良介氏(NHK アナウンサー)、采野吉洋氏(MBC アナウンサー)、田中早苗氏(KBS アナウンサー)、近藤久美子氏(KYT アナウンサー)

◇日時 11月29日(日)14時~15時30分

◇場所 鹿児島女子短期大学(全5回)

◇定員 300人程度

◇申し込み 往復はがきに住所、氏名(ふりがな)、参加人数、電話番号を書いて、11月9日(必着)までにかごしま近代文学館「向田邦子作品朗読会」係へ ※入場無料

■声に出して読む向田邦子

◇講師 廣尾理子氏(鹿児島純心女子高校教諭)
◇日時 11月~3月の第3日曜日14時~15時30分(全5回)

◇定員 80人(超えたら抽選)

◇参加料 年間パスポートのみ

◇申し込み 往復はがきに住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて、10月26日(必着)までにかごしま近代文学館「声に出して読む向田邦子」係へ

■向田邦子が愛した画家たち

◇内容 多くの絵画を集めていた向田邦子が特に気に入っていた画家たちの絵を語る

◇講師 山西健夫(市立美術館学芸係長)

◇日時 11月1日(日)14時~14時40分

■向田邦子のファッション~そのおしゃれ術のひみつは

◇講師 橋元洋子氏(野村服飾専門学校理事)

◇日時 11月23日(祝)14時~14時40分

◇定員 300人程度

◇申し込み 往復はがきに住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて、10月26日(必着)までにかごしま近代文学館「向田邦子作品朗読会」係へ ※入場無料

向田邦子の世界に触れてみては

○向田邦子が今も愛されているのは、作品もさることながら、人への気遣いなどに見られる彼女の自然体の生き方が魅力的だからではないでしょうか。

○企画展では作品に関する資料のほか、服や靴、小物など彼女のおしゃれな一面も見てほしいです。また今回初公開の「思い出そう」の一場面を音読する

向田邦子本人の肉声テープも貴重です。

○向田邦子の魅力の感じ方は人それぞれ。向田邦子の世界を魅了し、かごしま近代文学館へぜひお越しください

山口育子さん(かごしま近代文学館学芸員)

講座を通じて文学に触れる



梅崎春生「櫻島」文学碑